



北九州響灘洋上ウインドファーム

第76期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日

その先の向こうへ

GOING FURTHER

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2025年度（第76期）の事業概要ならびに今後の見通しにつきまして、ご報告申し上げます。

Q 2025年度を振り返って、いかがでしたか？

A 中期経営計画最終年度の2025年度は、業績目標を大幅に上回り、連結売上高7,943億円（前年度比9.2%増）、営業利益553億円（前年度比154.9%増）、経常利益532億円（前年度比182.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益347億円（前年度比178.4%増）と、いずれも過去最高を更新しました。

海外はシンガポールで建築工事1件の採算見直し等に加え、設備子会社で追加損失を計上したことにより営業利益の黒字化は達成できませんでした。国内は土木、建築ともに事業量拡大や工事採算の改善により目標を大きく上回りました。

受注については、国内土木は国土強靱化、防衛関連等の官庁工事に加えて複数の民間大型工事を、国内建築は物流施設や防衛施設等の大型工事を複数受注し、国内はいずれも過去最高となりました。海外でもシンガポールで2件、香港で1件の大型土木工事を受注したことにより、当社個別の建設受注高は過去最高の8,511億円（前年度比27.6%増）となりました。

株主還元については、期初予想から14円増配の一株当たり48円の年間配当（中間配当17円と期末配当31円、連結配当性向38.1%）を行うとともに、100億円の自己株式取得（中



代表取締役社長 清水 琢三

間50億円、期末50億円)を実施した結果、2025年度の連結ベースの総還元性向は66.9%となりました。

Q 2026年度の見通しと課題について教えてください。

A 建設事業を取り巻く事業環境は、世界的な資源・エネルギー及び建設資材の高騰・高止まりにより工事費の上昇が続いていますが、国内においては、国土強靱化や防衛力強化のための堅調な公共投資に加え、経済安全保障の観点からサプライチェーン強靱化のための国内生産拠点や物流施設、AIの進展によるデータセンターの建設需要の高まり、さらには省力化・カーボンニュートラル対応など、旺盛な民

間投資が見込まれます。海外においても、当社の拠点であるシンガポールや香港、東南アジアでは引き続きインフラ需要は旺盛であり、質の高いインフラ輸出（ODA）による大型港湾工事も見込まれます。

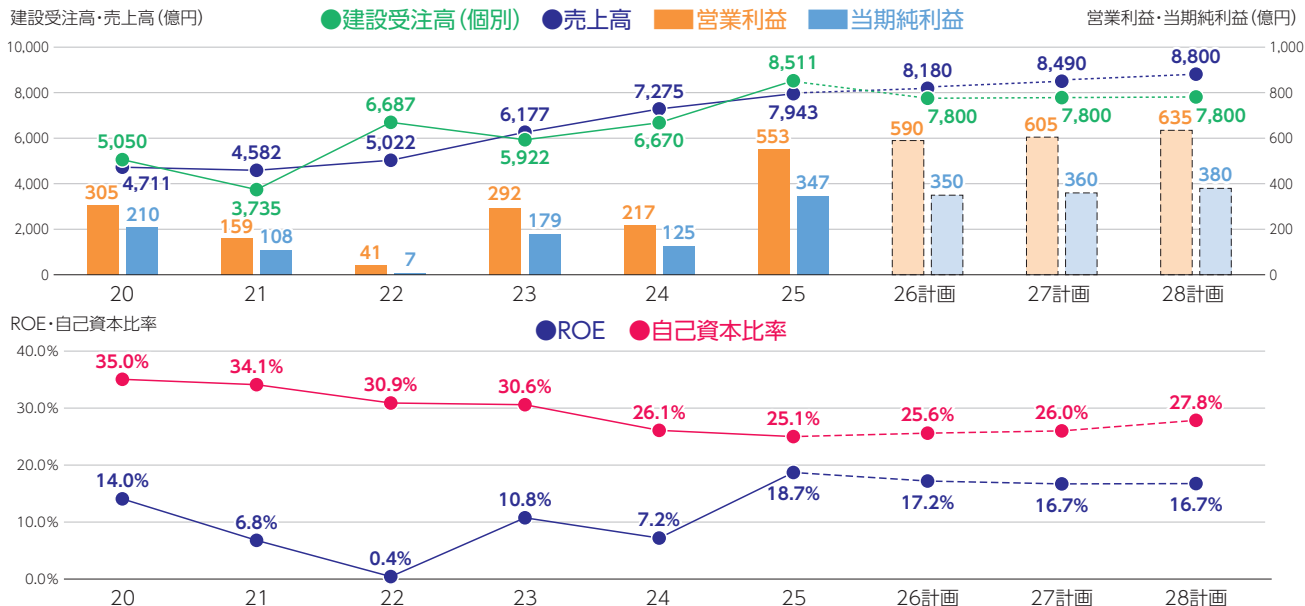
しかしながら、イラン情勢に起因する原油や原油由来の資材価格高騰、供給制約に注視する必要があります。

Q 新しい中期経営計画について教えてください。

A 今回策定した「中期経営計画（2026～28年度）」では、豊富な手持工事の確実な進捗や旺盛な建設需要を確実に取り込むことで、本計画期間中に過去最高の売上高と過去最高益の更新を予想しています。

本年4月に迎えた創業130周年のメッセージ「新たな挑戦がつづく」のもと、時代の変化を先取りし、変化に適応しつつ、自ら進化し続けることで未来を切り拓きます。

【主要数値の推移（連結）】



事業量の拡大を利益の拡大とさらなる企業価値の増大に繋げるため、サステナビリティ経営の深化に注力します。「サステナビリティの取組みは現場から～協力会社・取引先のみなさまと、常にサステナビリティを考えた事業を展開します」と「建設の未来を切り拓く～AIとロボティクスを活用したDXとGXを推進し、ワクワクする建設現場へと変革します」の二つの「Evolution（進化）」を推進します。

五洋建設グループは、これからも進取の精神で、「サステナビリティ経営を実践し、建設の未来を切り拓く、真のグローバル・ゼネラルコントラクター」として、社会の持続的発展に貢献し、企業の持続的成長ならびに企業価値の向上につなげてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

>>> 中期経営計画策定にあたって

五洋建設グループは、このたび、2026年度を初年度とする3カ年の「中期経営計画（2026～28年度）」を策定いたしました。新中期経営計画においては、本年4月に迎えた創業130周年のメッセージ「新たな挑戦がつづく」のもと、時代の変化を先取りし、変化に適応しつつ、自ら進化し続けることで未来を切り拓きます。事業量の拡大を利益の拡大とさらなる企業価値の増大に繋げるため、サステナビリティ経営の深化に注力し、二つの「Evolution（進化）」を推進します。

130th
PENTA-OCEAN

新たな挑戦がつづく

Evolution 1：サステナビリティの取組みは現場から
協力会社・取引先のみならず、常にサステナビリティを考えた事業を展開します

Evolution 2：建設の未来を切り拓く
AIとロボティクスを活用したDXとGXを推進し、ワクワクする建設現場へと変革します

※Evolutionとは、自ら進化し続けること。

五洋建設

Evolution 1

サステナビリティの取組みは現場から

～協力会社・取引先のみならず、常にサステナビリティを考えた事業を展開します

ESG（環境、社会、企業統治）の観点から常にサステナビリティを考えた事業活動、企業行動を実践することを会社のDNAへと進化させます。CO₂の削減やネイチャーポジティブの取組みなどの環境の保全と創造、労働安全衛生の確保、DE&Iの推進、人権の尊重、協力会社や取引先との適正な取引といった社会的責任を、日々の業務の中で着実に果たします。

Evolution 2

建設の未来を切り拓く

～AIとロボティクスを活用したDXとGXを推進し、ワクワクする建設現場へと変革します

10年後の建設現場の未来の姿を見据えて、AIとロボティクスの現場実装により、若者が魅力を感じる建設現場へと進化させます。「グローバルDXセンター」が先導して、建設DX（デジタル施工の高度化、施工管理の効率化）、ナレッジDX（経験・知識の定型業務への活用、設計・施工計画の自動化）、経営DX（デジタル基盤の整備、経営管理の効率化）を推進します。また、DX推進による生産性向上は、使用燃料の低炭素化・脱炭素化につながります。再生可能エネルギーの利用拡大と合わせてGXの推進、CO₂の排出削減につながります。

>>> 中期経営計画(2026~2028年度)の概要

目指すべき姿

サステナビリティ経営を実践し、建設の未来を切り拓く
“真のグローバル・ゼネラルコントラクター”

五洋建設グループは、サステナブルな建設事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献します

【マテリアリティ (重要課題)】

○豊かな地球環境の創造

①気候変動問題への対応、②豊かな環境の創造

○サステナブルな建設事業活動の実践

③良質な社会インフラ・建築物の建設、④技術開発・技術力の強化

○多様な人材が活躍する社会の実現

⑤DE&Iの推進

○人間尊重

⑥人権の尊重と持続可能なサプライチェーン、⑦労働安全衛生の確保

○誠実な企業活動の実践

⑧実効あるガバナンスの推進

経営目標 (連結)

	中期経営計画 (2020~22年度) 2022年度実績	中期経営計画 (2023~25年度) 2025年度実績	中期経営計画 (2026~28年度) 2028年度目標
売上高	5,022億円	7,943億円	8,800億円
営業利益	41億円	553億円	635億円
当期純利益	7億円	347億円	380億円
EPS	2.4円	125.6円	147.4円

【財務目標】

有利子負債残高	937億円	1,961億円	1,660億円
D/Eレシオ(ネット)	0.3倍	0.6倍	0.4倍
ROE	0.4%	18.7%	10%以上 (概ね16%超)
総還元性向	1,002%	66.9%	60%以上

事業見通し

- 国内：日本の成長分野を取り込み、さらなる事業拡大
- 海外：国内とシナジーの高いシンガポールで持続的成長
- 2030年度1兆円を視野に事業拡大を利益拡大に繋げる

基本戦略

1. サステナビリティの取組みは現場から

- サステナビリティ経営を進化させる仕組みづくり
・サステナビリティ朝礼 ・サステナビリティ表彰
- マテリアリティ(重要課題)への取組み強化
・人権の尊重 ・持続可能なサプライチェーン
・生物多様性の保全
- サステナビリティ情報開示の拡充
・統合的な開示の推進
・グローバル基準への適応と情報開示の拡充

2. サステナブルな建設事業活動の実践

- 「良質な社会インフラ・建築物の建設」こそが最大の社会貢献
- 事業量の拡大を利益の拡大に繋げる

フロントローディング×技術力×リスクマネジメント×部門間連携×進取の精神

- ・フロントローディングの徹底
- ・協力会社・サプライヤーとの関係強化 ・外部との連携の推進

○AIとロボティクスを活用したDXの推進

- ・グローバルDXセンター

3. 多様な人材が活躍する社会の実現

- DE&Iの推進
・多様な人材確保・育成 ・ウェルビーイングの向上
・多様な人材の活躍支援 ・ワークライフバランスの実現
・働きがいを感じられる職場環境整備
・多様性を尊重する風土の醸成

4. 豊かな地球環境の創造

- 気候変動問題への対応
・洋上風力建設のフロントランナー ・建物のZEB推進
・CO₂排出量削減
- ネイチャーポジティブの取組み
- 資源循環型社会の形成

5. 実効あるガバナンスの推進

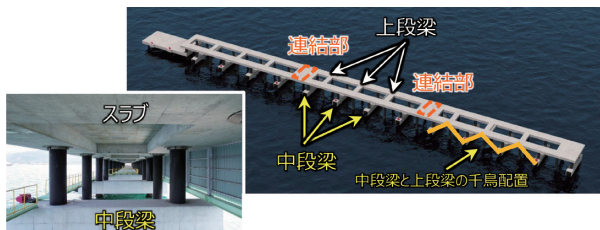
- コーポレートガバナンス体制の見直し
・取締役会のガバナンス強化 ・取締役会の実効性強化
- 株主との価値共有・中長期的企業価値向上
・役員報酬制度の改正 ~株式報酬比率のアップ(10%⇒30%)
・従業員向け株式給付信託(J-ESOP)の導入

国内土木 ～ 省力化：PCa(プレキャスト)化の推進

■秋芳鉱業(株) 新栈橋延伸プロジェクトにおける国内最大規模のPCa床板の一括架設

○PCa部材の徹底した統合・大型化を行い、ユニット数を極限まで削減し生産性を大幅に向上

- 「中段梁千鳥配置」による部材の削減
 - ・既設栈橋では独立構造としていた「本体栈橋」と「接岸ドルフィン」を一体化し、合理的な構造に
 - ・中段梁PCa部材を新設し、中段梁に複数の機能を集約（防舷材取付基部・船体からの反力支持・後列杭との連結）
 - ・防舷材を設置しない杭列の中段梁を省く「千鳥配置」を採用 → PCaユニット数の大幅な削減

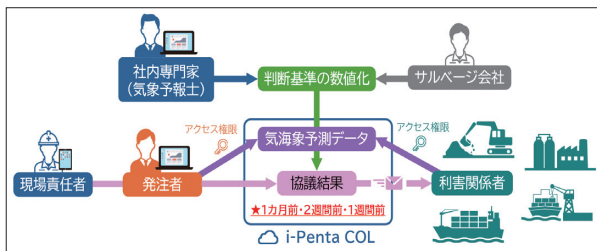


- 「SRC構造」による部材の大型化
 - ・起重機船による揚重時の変形やひび割れリスクを解消すべく、PCa部材内部への鋼材補強（SRC構造）の実施 → 前例のない長大PCa部材での一括架設を可能にし、海上作業を最小限に



○不確実な気象条件を自社開発システムにて高精度に予測、情報共有体制を構築し克服

- 自社開発システムによる迅速な意思決定
 - ・「気象予測システム」：長大PCa部材の架設に必要な「連続静穏4日」を、早期・高精度に特定
 - ・「i-PentaCOL」：発注者や社外関係者と予測データおよび判断基準をリアルタイムに共有



国内建築 ～ DXの推進：リニューアル工事における生産性向上

■大規模商業施設リニューアル工事における取組み

【対象建物と技術導入の背景】

- ・70年以上前に建築され、残された図面は手書き図面のみ
- ・用途変更、増改築を重ねた結果、図面と現場が不一致
- ・水平直角では無い複雑な躯体形状
- ・広大な作業エリア
→従来の測量では正確な現状把握が困難、
かつ時間・労力を要する



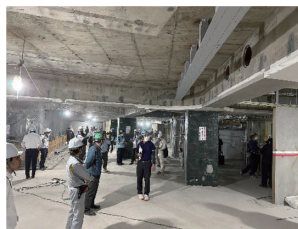
○レーザースキャナを用いた点群測量により建物形状把握を高度化、省力化

- ・複雑な躯体形状を足場無しに床面からレーザーで正確に補足
→手作業による測量ミスゼロに
→足場に昇った高所作業が無く、天井測量時の安全性向上
→測量コスト削減（従来の手作業による測量に比べて1/8に削減）
⇒既存建物の形状把握の高度化、測量作業の省力化
点群データをCADデータ化することで生産性向上



○3Dデータを活用した遠隔臨場により発注者との合意形成を円滑化

- ・赤外線センサー+360度カメラによる3Dデータ取得
→リアルな3Dのデジタルモデル（デジタルツイン）を再現し、建物内部をバーチャルツアーのように歩き回りながら確認が可能



従来：約70人の関係者による
現地確認+打合せ



デジタルツインを活用：
会議室にて3Dデータ確認

- ・定例会議参加者70名の現場内移動時間を削減
関係者間の「認識のズレ」を防止し、合意形成を円滑化

>>> 連結財務諸表

●連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2025年3月31日現在)	当 期 (2026年3月31日現在)	科 目	前 期 (2025年3月31日現在)	当 期 (2026年3月31日現在)
(資産の部)	660,127	790,413	(負債の部)	488,005	591,379
流動資産	484,031	527,938	流動負債	378,846	419,651
現金預金	57,270	71,769	工事未払金等	156,821	155,724
受取手形・完成工事未収入金等	360,808	368,178	短期借入金	57,011	53,198
未成工事支出金等	21,362	19,297	コマーシャル・ペーパー	9,961	9,929
棚卸不動産	439	438	1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未収入金	36,445	42,552	未払法人税等	2,783	17,395
その他	8,148	26,275	未成工事受入金	30,388	40,587
貸倒引当金	△443	△574	預り金	81,519	110,810
固定資産	176,096	262,475	完成工事補償引当金	1,252	1,096
有形固定資産	137,311	215,476	賞与引当金	3,324	3,586
無形固定資産	2,089	1,929	工事損失引当金	6,191	6,170
投資その他の資産	36,694	45,070	その他	19,591	11,151
1 資産合計	660,127	790,413	固定負債	109,159	171,728
			社債	31,000	41,000
			長期借入金	58,503	82,005
			長期預り金	13,723	43,212
			再評価に係る繰延税金負債	3,787	3,787
			役員株式給付引当金	492	565
			退職給付に係る負債	1,246	848
			その他	406	309
			(純資産の部)	172,121	199,033
			株主資本	157,233	173,860
			資本金	30,449	30,449
			資本剰余金	18,386	18,386
			利益剰余金	111,155	137,744
			自己株式	△2,759	△12,720
			その他の包括利益累計額	14,828	24,404
			非支配株主持分	60	768
			負債純資産合計	660,127	790,413

1 総資産・純資産

総資産は、主として固定資産の増加により、前期末に比べ1,303億円増加し、7,904億円となりました。純資産は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前期末に比べ269億円増加し1,990億円となりました。

2 有利子負債

借入金および社債の増加により、前期末に比べ297億円増加し1,961億円となりました。

●連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	当 期 (2025年4月1日から 2026年3月31日まで)
3 売上高	727,491	794,306
完成工事高	703,077	770,972
その他の売上高	24,414	23,334
売上原価	679,909	710,972
完成工事原価	658,920	692,528
その他の売上原価	20,989	18,444
売上総利益	47,581	83,333
完成工事総利益	44,156	78,443
その他の売上総利益	3,424	4,890
販売費及び一般管理費	25,884	28,029
4 営業利益	21,697	55,304
営業外収益	987	2,640
営業外費用	3,845	4,748
経常利益	18,839	53,195
特別利益	1,313	169
特別損失	885	875
税金等調整前当期純利益	19,267	52,490
法人税、住民税及び事業税	6,188	19,083
法人税等調整額	611	△1,240
当期純利益	12,467	34,647
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	7	△45
5 親会社株主に帰属する当期純利益	12,460	34,692

3 売上高

国内土木、国内建築、海外事業すべてにおいて、豊富な手持ち工事が順調に進捗したため、前期に比べ9.2%増加し過去最高の7,943億円となりました。

4 営業利益

増収による増益、および設計変更獲得等による工事採算の改善により、前期に比べ154.9%増と大幅に増加し、過去最高の553億円となりました。

5 親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益に、営業外損益や特別損益、法人税等を加減した親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ178.4%増と大幅に増加し過去最高益の347億円となりました。2026年度は350億円とさらに過去最高益を更新する見込みです。

●連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

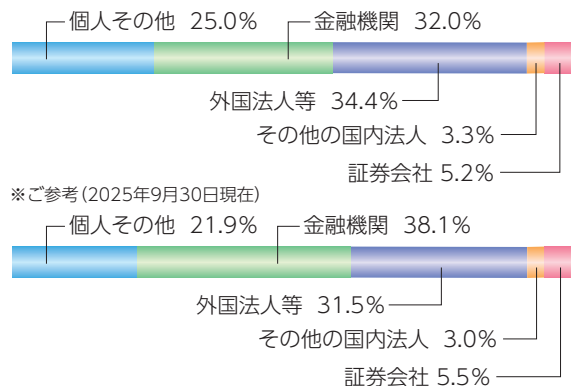
(単位：百万円)

科 目	前 期 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	当 期 (2025年4月1日から 2026年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,331	68,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,216	△66,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,883	9,594
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113	2,975
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,777	14,649
現金及び現金同等物の期首残高	59,564	56,786
現金及び現金同等物の期末残高	56,786	71,435

株式の状況

発行可能株式総数…………… 599,135,000株
 発行済株式の総数…………… 286,013,910株
 株主数…………… 72,266名

所有者別分布状況 (株式数)

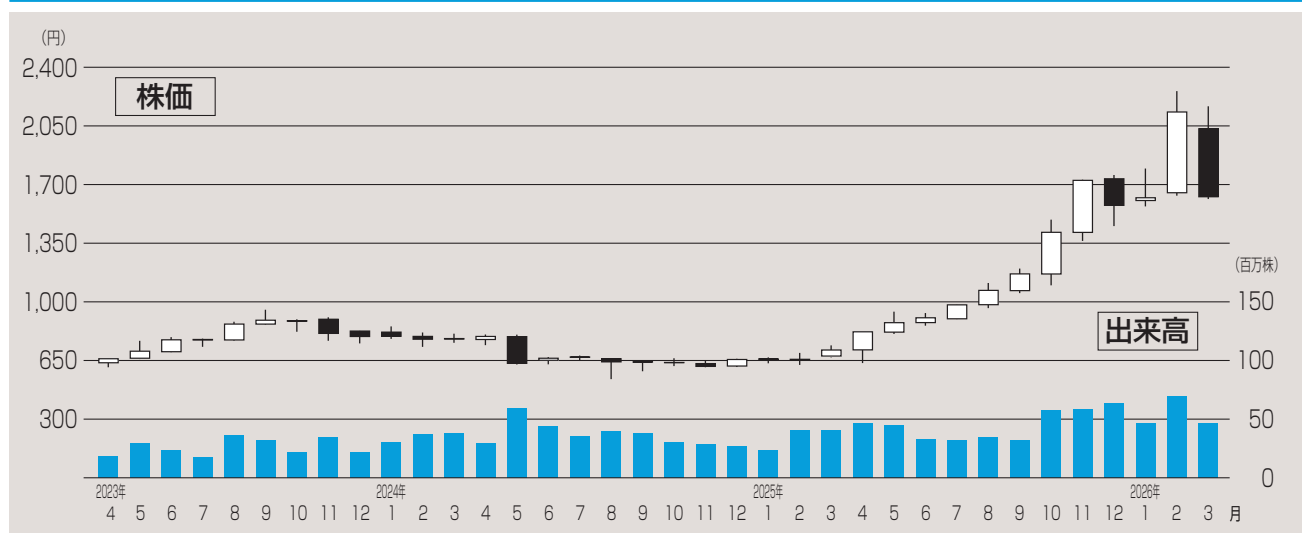


大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	39,357	14.4
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	15,784	5.8
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	8,989	3.3
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	7,275	2.7
明治安田生命保険相互会社	5,990	2.2
株式会社みずほ銀行	5,647	2.1
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	5,178	1.9
損害保険ジャパン株式会社	4,280	1.6
五洋建設取引先持株会	4,195	1.5
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	3,961	1.4

(注) 持株比率は、自己株式 (12,058,549株) を控除して計算しております。

株価および出来高の推移状況



>>> 会社の概況

会社概要

(2026年3月31日現在)

商号	五洋建設株式会社 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.
創業	1896(明治29)年4月
設立	1950(昭和25)年4月28日
資本金	30,449,952,150円
従業員数	3,439人
上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
主な事業概要	当社は建設業法により特定建設業者(特-3)第1150号として国土交通大臣の許可を受け、土木・建築ならびにこれらに関連する事業を行っております。また、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者(14)第1635号として国土交通大臣の許可を受け、不動産に関する事業を行っております。

主要事業所

(2026年6月24日現在)

本店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3816-7111
札幌支店	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ10F	011-281-5411
東北支店	980-8605	宮城県仙台市青葉区二丁目16-20 二丁目ホームプラザビル2F	022-221-0932
北陸支店	950-8501	新潟県新潟市中央区東大通1-2-25 北越第一ビルディング5F	025-246-1381
東京土木支店	112-0004	東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー33F	03-3817-8890
東京建築支店	112-0004	東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー24F	03-3817-7600
名古屋支店	460-8614	愛知県名古屋市中区栄1-2-7 TERASO II 6F	052-209-8950
大阪支店	530-0014	大阪府大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー14F	06-6486-2100
中国支店	730-8542	広島県広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビュースタンドタワー7F	082-511-7900
四国支店	790-0011	愛媛県松山市千舟町4-4-3松山M&Eビル7F	089-935-5755
九州支店	812-8614	福岡県福岡市博多区博多駅東2-7-27	092-475-5000
技術研究所	329-2746	栃木県那須塩原市四区町1534-1	0287-39-2100

海外営業所

国際部門シンガポール本社		
香港営業所	ベトナム営業所	インドネシア営業所
マレーシア営業所	タイ営業所	ミャンマー営業所
アフリカ営業所		

取締役

(2026年6月24日現在)

代表取締役社長	清山 水	琢三
代表取締役	山下 野	朋斗
※ 取締役	中野 北	美奈
※ 取締役	関林 美	奈博
※ 取締役	林 菊	奈博
※ 取締役	岸 菊	重子
※ 取締役		みず
※印は社外取締役		

監査役

(2026年6月24日現在)

監査役	北橋 俊次
※ 監査役	米澤 伸明
※ 監査役	古片 真直
※ 監査役	岡 麻紀
※印は社外監査役	

経営役員

(2026年6月24日現在)

経営役員	田中 原 良 二	野口 哲 史	渡部 浩
	俊 俊	高 修	

執行役員

(2026年6月24日現在)

※1 執行役員社長	清植 水 琢 三	土木部門担当(営業)
執行役員副社長	田原 良 二	建築部門建築本部長(兼)安全品質環境担当
※2 執行役員副社長	山下 朋 二	経営管理本部長
執行役員副社長	川崎 茂 信	土木部門担当
執行役員副社長	下嶋 弘 史	土木部門担当
※2 執行役員副社長	野口 哲 史	土木部門土木本部長(兼)安全品質環境担当
※2 専務執行役員	渡部 浩	建築部門建築営業本部長
専務執行役員	大下 哲 則	土木部門洋上風力事業本部長(兼)土木部門担当(営業)
専務執行役員	山下 一 志	建築部門担当(営業)
専務執行役員	水谷 誠 志	土木部門担当(兼)国際部門担当
専務執行役員	勢田 昌 功	土木部門担当
※2 専務執行役員	村松 俊 昭	土木部門土木営業本部長(兼)土木部門担当(土木企画)
常務執行役員	佐々木 毅	建築部門担当
常務執行役員	大津 義 人	建築部門都市開発本部長
常務執行役員	山崎 和 彦	土木部門担当(環境)
常務執行役員	馬場 浩 史	建築部門担当(営業)
常務執行役員	近藤 敬 修	東京土木支店長
※2 常務執行役員	日高 村 武 夫	国際部門統括(兼)国際部門国際土木本部長
常務執行役員	中伊 原 章	土木部門担当
常務執行役員	谷川 純 一	国際部門担当(建築) UG M&E CEO
常務執行役員	田中 智 二	中国支店長
常務執行役員	谷川 智 二	土木部門担当(営業)
常務執行役員	堀元 淳 一	名古屋支店長
常務執行役員	梶島 俊 昭	大阪支店長
常務執行役員	古村 正 人	土木部門担当(洋上風力)
常務執行役員	水尻 伸 一	土木部門担当
常務執行役員	清水 俣 章	安全品質環境本部長
常務執行役員	遠藤 淳 一	IR担当(兼)経営管理本部担当(経営企画、コーポレート・コミュニケーション)(兼)財務部長
執行役員	金川 武 雄	建築部門担当(都市開発)
執行役員	佐々木 智 弘	サステナビリティ推進室長
執行役員	巽 智 弘	建築部門担当(都市開発)
執行役員	松本 英 嗣	土木部門担当(洋上風力)
執行役員	住田 佳 洋	国際部門担当(土木)
執行役員	中川 裕 一郎	経営管理本部人事部長(兼)総合監査部長 経営管理本部法務部長(兼)土木部門洋上風力事業本部 事業企画部長
執行役員	斉藤 和 重	土木部門担当
執行役員	佐々木 広 輝	札幌支店長(兼)土木部門担当(洋上風力)
執行役員	佐々木 島 幸	東京建築支店長
執行役員	山本 岳	国際部門国際管理本部長
執行役員	川俣 幸 一	東北支店長
執行役員	豊田 泰 晴	四国支店長
執行役員	熊野 明	建築部門担当(建築設計)
執行役員	森屋 隆 一	建築部門担当(建築) 建築部長
執行役員	勝田 哲 弘	グローバルDXセンター長(兼)土木部門担当(洋上風力)
執行役員	矢ヶ部 恭 史	土木部門担当(土木)
執行役員	上林 佳 樹	九州支店長
執行役員	上村 浩 一	土木部門担当(陸上)
執行役員	上村 浩 一	建築部門担当(営業)
執行役員	Koh Tat Meng, John	国際部門国際建築本部長
執行役員	守屋 典 昭	土木部門土木M&E本部長(兼)土木部門担当(洋上風力)

※1印は取締役兼務者
※2印は経営役員兼務者

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

公告方法 電子公告にて当社のウェブサイト (<https://www.penta-ocean.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
証券コード 1893

株式に関する マイナンバーお届出のご案内

株式の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主さまのマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。

株式関係業務における マイナンバーを記載する主な支払調書

- 配当金等に関する支払調書
- 単元未滿株式の買取請求などの株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま
お取引の証券会社
- 証券会社とお取引のない株主さま
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル **0120-84-0178**

株式に関する住所変更等の お届出およびご照会について

証券会社等に口座をお持ちの場合

- 郵便物送付先・電話お問合せ先・各種お手続き
お取引の証券会社等になります。

証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)

- 郵送物送付先
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
- 電話お問合せ先 (フリーダイヤル)
0120-288-324
(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店
みずほ信託銀行
本店および全国各支店 (トラストラウンジを除く)
- 未払配当金のお支払
みずほ信託銀行 (トラストラウンジを除く) および
みずほ銀行

※支払明細発行につきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。



〒112-8576 東京都文京区後楽2-2-8



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



グリーンプリンティング認定制度を
取得している工場で印刷しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用
して印刷しています。

